

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害についてはグループホームだけでなく、併設施設と統合的な取り組みを行っている。火災訓練時にグループホームからの出火を想定した訓練が行われたことがない。	グループホームからの出火を想定した火災訓練を行う。併設の強みを生かした連携で利用者を誘導できるマニュアルの作成を行う。	グループホームからの出火を想定した避難マニュアルを作成して消防訓練を行い問題点があれば改善を行う。	12カ月
2	36	各居室に丸窓の透過ガラスがあるが、そこから部屋の中が見える為、常に外部からの可視となっている。	利用者一人一人が気に入った飾りを丸窓にとりつけ外部からの可視状態をなくす。同時に御利用者様が飾りを楽しめるように工夫する。	レクリエーションの時間等を用いて、各御利用者様の趣向にあった飾り付けを職員と一緒に行って行く。また、季節ごとに模様替えを行い視覚的に季節を感じれるような取り組みを行う。	12カ月
3	48	家族アンケートの結果、生き生きとした表情がよくみられるといった回答がおおいが、時々みられると言った回答も多いため、より深く利用者のニーズを掘りおこした支援を考える。	御利用者様や家族との会話の中から御利用者様の新たなニーズを発見して支援できるような環境を作り、その情報を職員全体で共有できるようにする。	ケアプランに沿った援助の中で新たな発見があればケース記録に記入するだけでなく、職員全員が一目で把握できるような閲覧簿の作成を行い変化するニーズを職員全体で把握してケアプランに繋げていく。	6カ月
4	52	応接室の近くに洗濯機などがある為、共用空間として居心地のよい雰囲気ではない。また、グループホームに入って直ぐに洗濯機が並んでいるのは視覚的に望ましくない。	排水等の関係で他に洗濯機を他に置く場所が無い為、カーテンをつける等目立たない工夫を行い御利用者様がくつろげる環境を作る。	排水等の関係等で他に洗濯機を置く場所が無い為、カーテンをつける等目立たない工夫を行う。	1カ月
4					カ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

評価結果の通知を受けた日から概ね2週間から30日以内に作成し、市町と評価機関に提出して下さい。(提出必須)